

パソコンの操作

2. 使用開始・終了

2.1. セットアップ、インストール

- PCを買ったら、最初にしなければならないこと
- ハードを組み立て、ソフトをPCに読ませて稼動できる状態にすることです。
- 一度行ったら、ハード、ソフトの構成を変えない限り、もう行う必要はありません。
- セットアップとインストールは同義語です。
set up=組み立てる、install=据えつける。



でも、セットアップしなければ使えません

2.2. インストーラー

- 新規に導入するソフトウェアを、実行可能にするツール・ソフトウェア
- ソフトはCD-ROMやインターネットなどからパソコンに読み込むだけでは、実行することは出来ません。このインストーラーを使って、各種のオプションの設定などをしなければなりません。
<例>
- プリンター、スキャナーなどの周辺機器も、パソコン本体に線で接続するだけでは動作しません。正常に動作できるようにするには、インストーラーによってそれを駆動するソフトウェア(デバイスドライバー、またはドライバー)をPCに読み込んで、各種設定を行うインストールをしなければなりません。
- インストーラーは、それぞれのソフトウェアについている専用のソフトで、setup.exe「セットアップ・イグゼ」とも呼ばれます。これを起動し、画面の指示に従って処理すればインストールされます。

2.3. アンインストール

- 不要になったソフトウェアを、削除する
- インストールしたソフトウェアが不要になったときには、ハードディスクから削除します。
uninstall=据付を解除する

•

2.4. 立ち上げ、起動

- パソコン(セットアップが終了した)に電源を入れ、利用者が利用できる状態にする
- 電源スイッチを入れると、自動的にソフトウェアが働いて人間が使える状態になります。難しいことはありません。

<たとえ話>

パソコンを車にたとえると、スイッチを入れエンジンを温めて走り出せる状態にするようなものです。

電源を入れれば、パソコンはひとりで立ち上がります！

2.5. デスクトップ

デスクトップには、2つの意味があります。

(1) パソコンに表示される初期画面

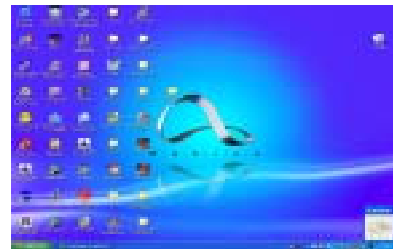
- 電源を投入し、利用者が使える状態になったときに表示される画面
- 利用者は、この状態から作業を始められます。

desktop=机の上

<たとえ話>

パソコン画面を机の上にたとえると、仕事を始める前の机の上の状態、と言えるでしょう。

パソコン画面は、机の上と同じ「仕事場」である！



デスクトップ

(2)据置き型のパソコン

- 机の上に据置くタイプのパソコン
- 持ち運びが容易なノート型パソコンに対して、デスクトップパソコンと違います。

2.6.ログイン、ログアウト

大事な情報を勝手に読み書きされないよう、使用者を登録制にして防御する手順です。

2.6.1.ログイン

- 利用者が、パソコンや情報などを利用可能にするための手続きです。
- あらかじめ登録してある名前やパスワード(暗証番号)を入力することにより、使用許可を得ます。

•<たとえ話>

ID(身分証明)カードを提示して、オフィスや工場に入ったり、あるいは銀行ATMでキャッシュカードと暗証番号を入力して本人確認をして、残高照会し、現金を引き出すようなものです。

login=(本人確認などして)利用可能にする。

「俺だよ、俺！」ではなく、きちんと身分証明を！

2.6.2.ログアウト

- 使用が終了したら、他人が使えないように使用可能な条件を解除する手続きです。

logout=利用可能な状態を解除する。

ログアウト

ログイン

ログアウト

利用できない

利用できる

利用できない

2.7. 強制終了

- 無理矢理処理を打ち切る
- PCが何らかの原因で動作しなくなったとき(固まる、ともいいます)、処理中のデータ喪失を覚悟の上で無理矢理(強制的に)打ち切り、正常な動作に回復できるようにすることです。

2.8. 電源を切る、電源を落とす

- 稼働しているPCを、決められた手順にしたがって終了させ、自動的に電源が切れるようにすることです。
- 電源コードをペンチで切断したり、高いところから落とす(落下させる)ことではありません。